

外濠からも攻め入る。神髓に迫る外濠クルーズ

「江戸城攻めという普通はここで終わるんだけど、今日は終わりませんよ。だって僕たち、普通じゃないから(笑)」と、昇太師匠が加藤先生と次に向かったのは、日本橋のたもとにある江戸城の「外郭」を攻めようというわけだ。

外郭とは、内郭の外側に広がる、外濠で囲まれた区域のこと。

意外にも江戸城の外濠は都心でひっそりと生き残り、江戸時代の姿をとめている。今日は、その外濠をチャーター便で巡るのだ。「外濠クルーズ、初体験だよ！ すごく楽しみ!!」と、加藤先生も興奮気味。

「僕は2回目。でも、以前はTV番組の撮影だったから、トークをしなくちゃいけないくて……。今日は面白いコメントなんてせず、ひたすら外濠に集中しま

すよ(笑)」

少年のような笑顔ではしゃぐ二人を乗せて、ボートは外濠へと繰り出した。日本橋を出航し、首都高道路の高架下に残る外濠を進む。出航後、すぐ

江戸城外郭に、

その名残を

訪ねて

内郭の周囲に存在した「外郭」。濠で囲まれ、いくつもの城門が置かれていた。その姿、技、防御の仕組みとは――。

「命懸けで採ってきた石



日本橋川

一部は江戸城の外濠として機能し、隅田川に注ぐ。江戸時代を通じて水運の要でもあった



いってきまーす!!



一ツ橋門

日本橋川に架かる一ツ橋の前に、外郭の城門の一つとして一ツ橋門が置かれていた。石垣には刻印石が多く残る



萌えポイント

外濠の名残がこんなにあるんだね!



いつもの東京とは全然違って見えるなあー

神田川

江戸幕府が旧平川下流の流路を変更。さらに洪水対策と外濠の強化を兼ねて隅田川に通じるよう開削された



東京から江戸にタイムスリップしたみたいだね♪

「神田川は、家康が水利工事をし、2代・秀忠が流路を付け替えた外濠。人工的に掘削した濠だと思いがくぜんとするね」

深いなあ」

江戸城とともに造られた江戸の水路や町は、今も東京の一部として息づいている。外濠クルーズは、江戸時代へのタイムスリップも味わえる不思議な船旅だった。

を取り違えられたらケンカになっちゃう。大名が集する天下普請の城ならでは、だね。子どもの落書きみたいに見えるけど、れっきとした江戸城の片鱗ですよ」と昇太師匠。最も刻印石が多く残るのは、一ツ橋門付近。

濠が仙台濠と呼ばれるのは、仙台藩の伊達政宗が担当したから……。あ、やっぱり土木工事の担当は東国の大名だ(笑)」

「ああ! なんじゃこりゃ。いろんな刻印がある!」

「やつぱり、水運は便利だね。電車やバスを使うよりも移動が速いもの。物流の大動脈だったと考え

「でも、この場所はあまりに刻印の種類が混在しているね。積み直しのとき、古い石材を一度集めてから再利用したんじゃないかな」と加藤先生。

船は北上して神田川に合流し、水道橋、御茶ノ水へと進んでいく。

「御茶ノ水の辺りなんて、すごい大工事だよ。この



隅田川

江戸城の外濠として機能。江戸の舟運にも重要な役割を担った

大人の休日
倶楽部  2019年3月号
Club



大人の肖像 / 劇作家・演出家・役者

野田秀樹

特集 / 東京都

いざ出陣!
日本最大城郭
「江戸城」へ